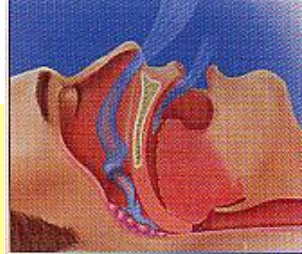


睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸(低呼吸)症候群は Sleep Apnea (Hypopnea) Syndromeと書き頭文字をとってサス(SASあるいはSAHS)といいます

- ・睡眠中に呼吸が止まってしまう病気です。
- ・舌の付け根や軟口蓋と呼ばれる部分が気道に落ち込んだりしてのどの奥が閉塞しておこります。
- また、顎が小さく顎が後退している小顎症が原因となることもあります。日本人は小顎症の人が多く痩せている人でも睡眠時無呼吸低呼吸症候群を有する人は多く存在します。



上気道の閉鎖・無呼吸

自分で首を絞めて窒息させるようなもので極端な人は、長いと2分近くも息が止まり、このため血液中の酸素が半分くらいまで減ってしまう人もいます

主な症状

自覚症状

- 昼間の眠気が強い
- 寝相が悪い
- 夜間のトイレの回数が3回以上
- 集中力の低下
- 睡眠中に息苦しいことがある
- インポテンツ
- 熟睡感がない
- 起床時頭痛
- のどの奥の違和感

他覚症状 (家の方の観察)

- いびきがうるさい
- 息が止まっている
- 苦しそうな息づかいをする



● **こんないびきに特に注意!!**

- ・大きくなったり小さくなったりするいびき
- ・セイセイと苦しそうないびき

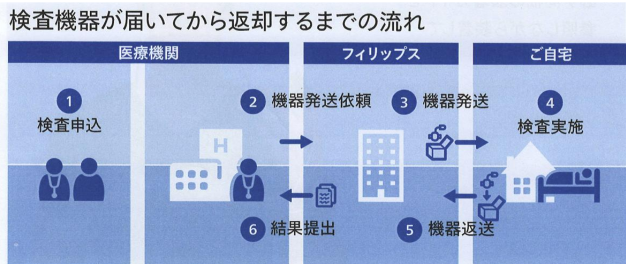
SASのメカニズムと合併症



精密な睡眠検査 自宅にて行います

1. 当院にて専門の検査業者に依頼し、測定機器をご自宅に宅配していただきます
2. ご自宅で検査をしたら、宅配便で送り返します
3. 結果は、クリニックで説明いたします

費用 3割負担の方で 約7000円



治療について

大きく分けて3つの治療方法があります

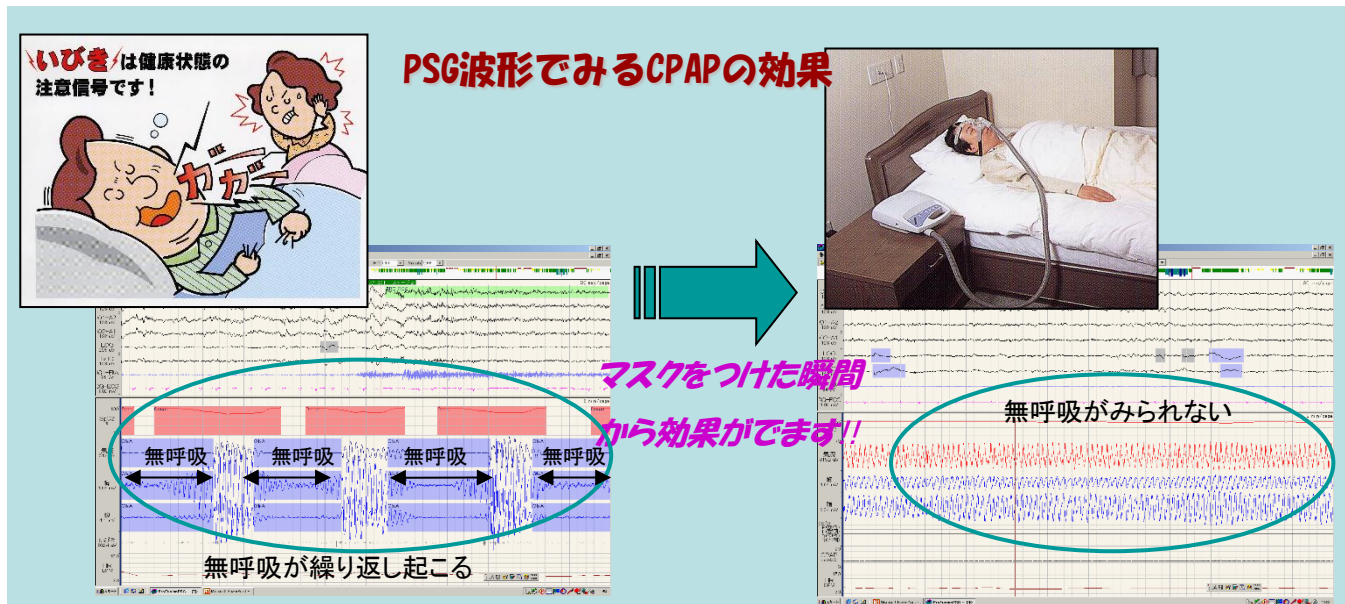
①CPAP(シーパップ:経鼻的持続陽圧呼吸療法)・・・一般的な無呼吸の治療

鼻マスクを通して、空気を持続して送り、気道を広げることで、無呼吸やいびきを消失させます。

最も安全かつ確実な方法で、多くの方がこの方法を行っています。

PSG検査で中等度以上の無呼吸症と診断されると、健康保険の適応となります。

費用:約4000円(3割負担で器械レンタル料金を含む)



②歯科装具(マウスピース)

中等度以下の無呼吸症の場合に用いることもあります。

強制的に下顎を前に出させて、気道を広げる方法です。

③耳鼻科的手術

扁桃腺の大きい方や、軟口蓋が大きい方が適応になります

治療までの流れ

外来受診

問診（日中傾眠 ESS眠気尺度 いびき 睡眠についてなど）



スクリーニング検査を実施 費用：約3000円（3割負担）

写真のようにして行う簡単な検査です
器械を貸し出しますので、ご自宅で二晩検査をします



無呼吸が10回/時間以上ある場合

無呼吸が30回/時間以上ある場合

自宅にて精密な睡眠検査(PSG検査)を行う

無呼吸が
15回/時間以上ある



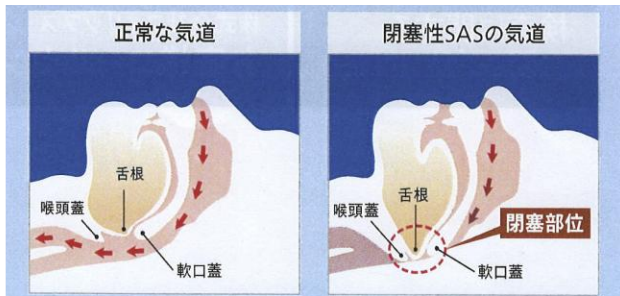
費用：3割負担で約7000円
(参：病院で行う1泊入院の検査は約3万円)



CPAP治療開始

検査結果を聞いて、治療方針に同意していただくと開始となります

★専門業者が、ご自宅に納品して、開始となります
マスクの選定・使用説明・デイリーケアなども行います



毎月の受診

費用：約4000円（3割負担で器械レンタル料金を含む）

医師の診察前に**専門の技師によりCPAP検診**を行います。器械のデータを解析し、使用状況や治療効果などについて確認し、安心して治療できるようにサポートいたします。

慣れてきたら、2ヶ月毎3ヶ月毎の受診も可能です。

モニタリング機能(使用状況やマスクフィッティングに異常がないかなどをWeb確認すること)で安心して使っていただけます。



旭岡木ロクリニック

内科 | 呼吸器内科